

# 「当たり前」の日常の大切さに 気付いた2020年でした

1月～3月

## 新型コロナウイルス感染症の流行が広がる前

まちだの  
“まち”  
ニュース

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、町田市内の聖火リレーのルート発表がありました。また、**町田市出身の水田光夏選手(パラ射撃、写真右)**に続いて**大迫傑選手(マラソン)**が代表選手に内定するなどうれしいニュースが盛りだくさんでした。

水再生センターでは、「**下水道革新的技術(B-DASHプロジェクト)**」(写真右下)がスタート。ICT(情報通信技術)とAI(人工知能)を活用した世界初の高度処理技術の実証実験に着手しました。3月16日には**芹ヶ谷公園東側エリア**(写真左下)がオープンするなど、新しい市の取り組みが続々と形になりました。また、1月には昨年10月にドイツ・ケルンで開催された「ユニセフ子どもにやさしいまち世界サミット2019」で他国の子どもたちと意見交換した町田市の中学生・高校生による、当サミットの報告会が開催されました。



まちだ  
with  
コロナ

世界では新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本国内でも警戒を強めていきました。同ウイルスの蔓延により、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期が決定されるなど、社会全体が大きな影響を受けました。町田市でも市内の小・中学校を休校としたほか、保健所を中心に一丸となって対応に当たりました。

町田市ホームページや広報まちだで相談先や対策方法などの情報を掲載し、同ウイルスに関する積極的な情報発信に努めました。



1月1日に指揮者  
で町田市名誉市民  
である荒谷俊治氏  
が逝去されました



4月～7月

## 緊急事態宣言下～ウィズコロナに移行するまで

まちだの  
“まち”  
ニュース

町田薬師池公園四季彩の杜西園がオープンし、豊かな時間を過ごすことができる施設として好評を博しました。また、**6月8日には三輪子どもクラブ「MIWA～GO」(みわーご、写真下)**がオープンしました。

施設休館、イベントの中止など、市の事業の多くが影響を受ける中、行政業務全体に柔軟な変化が求められました。また、市民の皆さんの「やってみよう」を実現する事業「まちだ〇ごと大作戦18-20」は実施期間を1年延長しました。



まちだ  
with  
コロナ

4月7日には新型コロナウイルス感染症対策として、国が緊急事態宣言を発出しました。これにより私たちの生活は一変し、外出自粛が叫ばれる中、多くの人々がテレワークや時差出勤、オンライン会議の活用などライフスタイルの変更を余儀なくされました。町田市では4月27日に多摩地域で最初に地域外来・検査センターを設置し、PCR検査を実施しました。また、新型コロナウイルス感染防止対策や、特別定額給付金の支給、中小企業者向け家賃補助事業など、さまざまな緊急支援対策を行いました。

市民の皆さんからはマスクや防護服、フェイスシールドの寄付など、温かいご協力をいただきました。

## そして今…

まちだの  
“まち”  
ニュース

市内外からの注目を集めた出来事の一つが、**芹ヶ谷公園に設置された、ポケモンの絵柄入りマンホール蓋「ポケふた」**です。都内初となる町田市のポケふたは、全国で累計100個目の記念すべき設置となりました。

さらに、うれしいニュースとして、**南町田グランベリーパーク**(写真下)が「都市景観大賞」、「緑の都市賞」での2つの国土交通大臣賞と、「プラチナ大賞」の優秀賞を受賞し、まちびらき以降、さまざまな方面から高く評価された1年となりました。また、町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲートが「GOOD DESIGN AWARD2020グッドデザイン賞」を受賞しました。



まちだ  
with  
コロナ

出かけるときはマスクを着用、テレワークや時差出勤、オンラインでのイベント開催など、私たちの暮らしの中に新しい生活様式が徐々に定着してきました。市では、さまざまな形で元気を取り戻すための取り組みを続けています。

例年数千人が参加する市民協働フェスティバル「まちカフェ!」を始め、「総合健康づくり月間」などの多くのイベントが、続々とオンラインなどを活用した開催方法に挑戦しています。

その他、市内の医療機関や介護施設等への支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の最前線で戦っている医療機関を支援するため、ふるさと納税で寄附金を募集し、1500万円を超えるご寄附をいただきました。いただいた寄附金を町田市医師会に1000万円、町田市歯科医師会に500万円をそれぞれ贈呈するなど、現在もさまざまな支援を続けています。

まちだの  
“これから”

たくさんの想いを集めた「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」の素案がまとまり、2021年に完成します。皆さんの投票により決定したキャッチコピーを掲げ、まちだの“これから”を作っていきます。詳細は「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」特設サイト(=右記二次元バーコード)をご覧ください。

